



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月30日

上場会社名 三共生興株式会社

上場取引所 東

コード番号 8018 URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 賢祥

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室ゼネラルマネージャー (氏名) 下川 浩一

TEL 06-6268-5188

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,101	△9.2	97	△53.7	306	△26.0	146	△37.7
27年3月期第1四半期	7,822	△11.5	209	△47.2	414	△30.2	234	△50.3

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 2,106百万円 (193.5%) 27年3月期第1四半期 717百万円 (△50.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	3.23	—
27年3月期第1四半期	5.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	58,567	36,843	62.3
27年3月期	57,647	35,420	60.9

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 36,507百万円 27年3月期 35,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	15.00	15.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	△6.3	1,000	△5.3	1,100	△17.5	800	△16.5	17.67
通期	37,000	△3.1	3,100	△4.9	3,300	△13.0	2,400	△25.2	53.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	60,000,000 株	27年3月期	60,000,000 株
28年3月期1Q	14,737,341 株	27年3月期	14,737,341 株
28年3月期1Q	45,262,659 株	27年3月期1Q	45,262,787 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)におけるわが国経済は、政府、日銀による経済政策、金融政策を背景に、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、不安定な欧州情勢、中国経済の減速など依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましても、一部でインバウンド需要が見られたものの、消費税増税後の長期に亘る消費マインドの低迷により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、主力のファッション関連事業、繊維生活関連事業が減収減益となるなど厳しい経営状況で推移しましたが、引き続き構造改革を通して事業の効率化、収益力の強化に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比9.2%減の7,101百万円、営業利益は前年同期比53.7%減の97百万円、経常利益は前年同期比26.0%減の306百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比37.7%減の146百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① ファッション関連事業

ファッションブランド商品の販売におきましては、国内市場では、消費税増税後の消費低迷の長期化など厳しい状況が続き減収とはなりましたものの、経費削減に努めたことにより利益面では改善いたしました。

海外市場では、台湾においては前期並みに推移いたしました。香港、中国においては減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比3.6%減の3,698百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比57.7%減の33百万円となりました。

## ② 繊維生活関連事業

繊維製品OEM事業におきましては、収益構造の改善や経費削減に努めた結果、減収とはなりましたものの利益面では改善いたしました。

寝装品、寝具などの販売におきましては、商品の低価格化や競合他社との競争激化など依然として厳しい状況が続いております。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比13.7%減の3,130百万円、セグメント損失(営業損失)は63百万円(前期は8百万円のセグメント利益)となりました。

## ③ 不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとする東京・横浜・神戸等の不動産に係る賃貸事業におきましては、売上高は前年同期比0.1%増の451百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比1.8%増の141百万円となりました。

## ④ その他

ビルメンテナンス事業、内装工事業等におきましては、売上高は前年同期比20.7%減の250百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比98.1%増の14百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,323百万円(6.7%)減少し、18,440百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が1,449百万円減少、現金及び預金が147百万円減少した一方で、商品及び製品が346百万円増加したことなどによるものであります。

## ② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,244百万円(5.9%)増加し、40,127百万円となりました。これは投資有価証券が1,955百万円増加したことなどによるものであります。

## ③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて925百万円(6.5%)減少し、13,285百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が589百万円減少、未払法人税等が282百万円減少、未払費用が238百万円減少した一方で、短期借入金が110百万円増加したことなどによるものであります。

## ④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて422百万円(5.3%)増加し、8,438百万円となりました。これは繰延税金負債が582百万円増加した一方で、長期借入金が130百万円減少したことなどによるものであります。

## ⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,423百万円(4.0%)増加し、36,843百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が1,360百万円増加、純資産から控除している為替換算調整勘定が573百万円減少した一方で、利益剰余金が532百万円減少したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績につきましては、平成27年5月15日の決算発表時に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等  
を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を  
資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたし  
ました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定によ  
る取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変  
更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っ  
ております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連  
結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準  
第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱い  
に従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。なお、当第1四半期連  
結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,421	7,273
受取手形及び売掛金	7,162	5,712
商品及び製品	4,334	4,681
仕掛品	13	7
原材料及び貯蔵品	11	11
その他	823	756
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	19,764	18,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,613	8,512
土地	3,787	3,787
その他(純額)	452	435
有形固定資産合計	12,853	12,736
無形固定資産		
商標権	5,164	5,588
その他	217	213
無形固定資産合計	5,381	5,801
投資その他の資産		
投資有価証券	18,911	20,866
退職給付に係る資産	8	8
その他	1,375	1,362
貸倒引当金	△647	△647
投資その他の資産合計	19,647	21,589
固定資産合計	37,883	40,127
資産合計	57,647	58,567

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,742	3,152
短期借入金	7,750	7,860
1年内返済予定の長期借入金	520	520
未払費用	1,058	820
未払法人税等	465	183
その他	673	749
流動負債合計	14,210	13,285
固定負債		
長期借入金	1,060	930
繰延税金負債	5,382	5,964
退職給付に係る負債	599	613
その他	974	930
固定負債合計	8,016	8,438
負債合計	22,227	21,724
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,165	6,165
利益剰余金	23,035	22,502
自己株式	△5,235	△5,235
株主資本合計	26,966	26,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,219	10,579
繰延ヘッジ損益	0	22
為替換算調整勘定	△1,097	△523
退職給付に係る調整累計額	△6	△4
その他の包括利益累計額合計	8,116	10,073
非支配株主持分	337	336
純資産合計	35,420	36,843
負債純資産合計	57,647	58,567

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	7,822	7,101
売上原価	4,523	4,044
売上総利益	3,298	3,056
販売費及び一般管理費	3,089	2,959
営業利益	209	97
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	196	214
為替差益	—	9
その他	37	24
営業外収益合計	235	249
営業外費用		
支払利息	22	16
店舗等除却損	—	19
為替差損	3	—
その他	4	3
営業外費用合計	30	39
経常利益	414	306
税金等調整前四半期純利益	414	306
法人税、住民税及び事業税	155	171
法人税等調整額	22	△13
法人税等合計	177	157
四半期純利益	236	148
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	234	146

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	236	148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	463	1,360
繰延ヘッジ損益	△20	22
為替換算調整勘定	36	573
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	481	1,957
四半期包括利益	717	2,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	715	2,103
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	ファッション 関連事業	繊維生活 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,830	3,446	329	7,606	216	7,822	—	7,822
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3	179	121	305	99	405	△405	—
計	3,834	3,625	450	7,911	316	8,227	△405	7,822
セグメント利益	78	8	139	225	7	233	△23	209

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△23百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△82百万円及びセグメント間取引消去等58百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	ファッション 関連事業	繊維生活 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,664	2,927	340	6,932	169	7,101	—	7,101
セグメント間の内部売 上高又は振替高	33	203	110	347	81	429	△429	—
計	3,698	3,130	451	7,280	250	7,530	△429	7,101
セグメント利益又は損失 (△)	33	△63	141	111	14	125	△28	97

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△28百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△85百万円及びセグメント間取引消去等56百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。